

第 18 回 医療安全監査委員会議事録

日 時：令和 8 年 3 月 11 日（水）

出席者：【監査委員会委員】

藤本良知委員長（議長）、森田眞照委員、永井仁美委員、
吉野敬昌委員、谷川昇委員、薦幸治委員

【病院側出席者】

松田公志病院長、宮崎浩彰医療安全管理部長、
徳永あゆみ医療安全管理部副部長、藤原宏司事務部長

【事務局】秘書室 齋藤、森田

欠席者：【病院側出席者】長沼誠医療安全管理責任者

議 事：

1. 業務状況報告

宮崎医療安全管理部長から、資料に沿って次の 5 つの業務報告が行われた。

- ① 医療安全管理部業務状況報告
- ② 医療安全管理対策委員会業務状況報告
- ③ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ④ 医療機器安全管理責任者業務状況報告
- ⑤ 医療放射線安全管理責任者業務状況報告

2. 講評（監査結果）

主な意見は以下のとおりであった。

- ・インシデント報告事例の中で係争になるのはどの程度か。

（回答）

- ・附属病院で新たに発生している係争は 1 年に 1～2 件程度である。
- ・現場で包み隠さず説明し収まることがほとんどである。一部医療安全管理部で対応しているが、数回お話ししてご理解いただいていることが多い。

（意見）

- ・これだけ多くの患者がいて係争事案が年 2 件程度なのは優秀である。

- ・外科の医局では入局希望の医師が少なくなっている。人手不足で自科麻酔の事案が増えると考えられる。外科手術が先送りになることは大学病院として考えておく必要があるのではないか。

（回答）

- ・本学は 2 年前に外科 6 講座制を導入した。そのときに新たな教授が着任し、スタッフも増員し、体制は以前より改善されたが、外科医不足と麻酔科医不足の問題がある。麻酔科医はアルバイトも募集しているがなかなか来てもらえない。看護師の特定行為研修修了者に麻酔科医指導の下で麻酔を担当してもらい麻酔件数を増やすことと、外科医が麻酔を担い導入と抜管は麻酔科医の指導下で行うことの二通りでできるだけたくさんの手術ができる体制を整えている。できるだけ慎重に複数の目でカバーできるよ

うに努力している。

次回開催日について

令和8年9月9日（水）14：30からの予定

以 上